

令和6年度 Wings of Friendship-Bangkok 「バンコク友好の翼」説明会開催

渡航期間:令和6年8月17日(土)~23日(金)

上毛町では、町内の青少年を海外に派遣し、異なる言語や文化に触れる異文化体験を通じて国際人を育成することを目的として、タイ王国で最も歴史と権威のある国立チュラロンコーン大学の附属小学校との交流を実施します。

興味のある方は、お子様と一緒に、ぜひ説明会にご参加ください。みなさんの参加をお待ちしています。



タイ王国 バンコク都 チュラロンコーン大学



- 対象者 上毛町に在住、または上毛町内の小学校に通学する小学6年生と保護者
- 日時 4月22日(月) 19:00~
- 会場 げんきの杜 多目的ホール(上毛町大字八ツ並143-1)
- 問い合わせ先 教務課 社会教育係 TEL 72-3165

●チェンマイ
スコタイ
THAILAND
●アユタヤ
カンチャナブリ ●バンコク
●パタヤ
●ホアヒン

小中学校卒業式

3月7日(木)に上毛中学校、3月18日(月)に各小学校において、来賓の皆様の御出席のもと、卒業式が厳粛のうちにかつ盛大に執り行われました。

卒業生は、先生方や保護者などへ感謝の想いを伝え、思い出を振り返るとともに、新生活への期待に胸を膨らませていました。

Graduation



上毛中学校



友枝小学校



唐原小学校



南吉富小学校



西吉富小学校

The Lost Cherry Blossom Tree

The cherry blossom tree has become symbolic to the world's image of Japan. However, did you know that in 1926, a young horticulturist from England discovered a very famous, lost species of Japanese cherry blossom in his back garden?

Because of Collingwood Ingram, a horticulturist specialising in cherry blossom trees from Kent, England, the Taihaku cherry tree was reintroduced to Japan after having been lost due to the modernization of Japan's natural landscape. Ingram's interest in Japanese cherry blossom trees first began when he visited Japan in 1902. Ingram was in awe of the beautiful flowers and sent over 50 endangered varieties to England for safekeeping and cultivation. Ingram had one of the biggest collections of cherry trees outside of Japan.

By 1926, Ingram had become a known name within the Japanese cherry tree society. On his next visit to Japan, he was shown a photograph of the extinct Taihaku (the great white cherry tree) variety that had vanished from cultivation in Japan.

However, much to his Japanese host's surprise, Ingram claimed he had seen that exact variety of tree growing in a small garden in England. His hosts weren't sure whether to believe him or not, confused as to why the only last remaining Taihaku tree resided in England.

On Ingram's return to England, he retrieved a cutting from the tree and sent it to Japan.

Ingram's work and dedication to the world of horticulture meant Japan's Taihaku tree was able to return and flourish in its home country.

Ingram lived a long life, passing away at 100 years old in May 1981.

失われた桜の木

ALT(外国語指導助手)レクシー

桜の木は、世界から見た日本のイメージの象徴となっています。しかし、1926年にイギリスの若い園芸家が、日本で絶滅したとされるとても有名な種類の桜を裏庭で発見したことをご存知ですか？

イギリス・ケント州の桜を専門とする園芸家コリングウッド・イングラム氏のおかげで、日本の自然風景の近代化によって絶滅していた太白桜が日本に再び持ち込まれました。

イングラム氏が日本の桜の木に興味を持ち始めたのは、1902年に日本を訪れたときでした。イングラムはその美しい花に畏敬の念を抱き、50種以上の絶滅危惧種を保存と栽培のためにイギリスに送りました。イングラム氏は日本国外で最大級の桜のコレクションを持っていました。

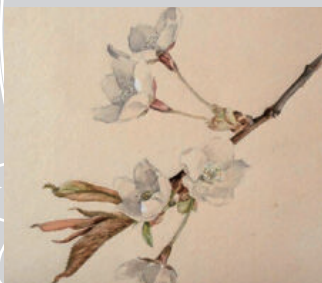
1926年までに、イングラム氏は日本の桜協会内でその名を知られるようになりました。日本に再び訪れた際、彼は日本から姿を消してしまった絶滅品種「太白桜」の写真を見せられました。

しかし、イングラム氏が、まさにその種類の木がイギリスの小さな庭で生えているのを見たことがあると主張したことで、日本の人々は大いに驚きました。最後に唯一残っている太白桜がなぜイギリスにあるのか、彼の話信じていいのか迷っていました。

イングラム氏はイギリスに帰国後、その木から挿し木を切り出して日本に送りました。

イングラム氏の園芸界への貢献と献身のおかげで、日本の太白桜は母国に戻って繁栄することができました。

イングラム氏は長生きし、1981年5月に100歳で亡くなりました。



上毛町小中学生読書リーダー養成講座活動報告会

3月3日(日)、げんきの杜にて、小中学生読書リーダー養成講座活動報告会が行われました。小中学生読書リーダーとは、学校の中で読書の大切さなどを伝えるリーダーとなってくれる児童生徒です。今年度は町内の小中学生12名が参加し、読書リーダーとして活動するために必要な知識などを学び、それぞれ学校において読み聞かせや本のポップ作りなど実践活動に取り組みました。取り組んだ活動の報告を行った後、最後に読書リーダーとしての認定証とエプロンが贈呈されました。

今後、読書リーダーのみなさんには、読書の楽しさや大切さをしっかりと伝えてくれることを期待しています。



「河川愛護絵画コンクール」特等受賞 北山なるみさん(南吉富小学校)

福岡県では、河川環境の保全と河川愛護意識の高揚を目的として、毎年7月を河川愛護月間として定め、様々な河川愛護事業を実施しています。この一環として、「わたしたちと川の関わり」をテーマに、絵画を募集しています。

このたび、令和5年度コンクールにおいて、北山なるみさん(南吉富小1年生)の作品が低学年の部で最優秀賞の<特等>にみごと輝き(県下1名)、福岡県知事から表彰状と表彰盾が贈られました。

